

(17) 化学教育における授業モデルの検討

化学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、10月、12月、23年3月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

物質科学の観点から身の回りの現象を適切に理解し判断できるようにするため、他の専門科目との連携の中で、卒業までに継続して化学の知識と技能が振り返りできる授業デザインを一般レベルと専門レベルの2例とりあげることになっている。

一般レベルでは、身の回りの現象や問題を適切に認識させるため、グループ学習で物質の変化について学習させ、その結果をポートフォリオ化するとともに、LMS上の掲示板などで意見交換、相互評価を行う授業モデルとした。

専門レベルでは、化学技術が生活・健康・地球環境などに及ぼす影響を理解し、指摘できる能力を身に付けさせる授業モデルを検討している。